

# 木下よしひろ



## 横浜の未来を結ぶ会

政務調査レポート第15号 討議資料

横浜市は370万人が暮らす日本最大の都市です。

将来人口推計では、横浜市の人口のピークは2019年で、およそ373万人であり、年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)は減少し、老年人口(65歳)は増加していきます。高齢化も増加の一途をたどり、人口ピーク時(2019年)でおおよそ25%の高齢化率に、2060年の参考値では、おおよそ35%以上の高齢化率になる見込みが立てられています。横浜市の最大の課題は財政構造です。個人市民税への依存度が高過ぎるのです。このままでは、団塊の世代の本格的な引退によって、税収が一気に落ち込む恐れがあります。

医療や福祉、教育、子育てと必要な所に、必要な施策を講じていくためにも、税収の確保は今まで以上に重要になります。

税金のムダ使いは解消しなければいけませんし、行政改革も徹底的に行っていく必要があります。しかし、それだけではどうにもならないところまで来ているのが、地方自治の実情であり、横浜の現状です。変わる努力をしなければ、横浜市は今後、衰退の一途を辿ることでしょう。今、正にその帰路に私たちは立っているのです。

私は横浜市が持つ潜在力を引き出せば、まだ変わることができると思っています。そう信じて、日々の活動を続けています。10年後、20年後の横浜市を見据えて、課題を洗い出し、政策を考え、実現していかなくてはなりません。

市民の声が届く議会に変え、行政改革によって筋肉質な行政経営に切り替え、税金を適切に配分できる、そんな横浜市を実現していきます。従来の予算要望型の政治を一度、見直す必要も出てくるでしょう。これまでのやり方を見直す時、必ず、反発も出てくるでしょう。特に地方自治は、市民生活に身近な案件を扱うだけに、その反発は大きいかもしれません。しかし、少子化の影響が向こう30年は続くこと、これからいよいよ本格的な高齢化社会に突入することを考えた時、今こそ横浜市のグランド・デザインを描く時です。

私は市民のみなさんと共に、横浜から新しい時代の地方自治を創っていきたくと思っています。そして、新しい地方自治の在り方を全国に発信できたとき、きっと、横浜の未来は輝かしいものになり、日本も元気になるはずですよ。

みなさんのご意見をぜひ、お聞かせ下さい。  
一緒に横浜の未来を創りましょう!

横浜の未来を結ぶ会

## 木下よしひろ

横浜市議会(南区選出)



### 木下よしひろ政務調査事務所

TEL 045-341-0360 〒232-0006  
FAX 045-341-0361 横浜市南区南太田1-23-13  
レジデンスヨコハマ南304号

### くらしの救急ガイド

救急医療情報相談ダイヤル

#7499 つながらない時は  
TEL 045-227-7499

- プッシュ① 救急医療情報センター
- プッシュ② 小児救急電話相談
- プッシュ③ 産科あんしん電話



### 横浜市歯科保健医療センター

休日・夜間の歯痛には横浜市歯科保健医療センター

TEL 045-201-7737

郵便はがき

2328790

< 受取人 >

横浜市南区南太田1-23-13  
レジデンスヨコハマ南304号

横浜市議員 木下よしひろ  
政務調査事務所 行

料金受取人私郵便

局 認  
横 南  
承 022号

差出有効期限  
平成26年12月  
31日まで  
(切手不要)



▼みなさまの声を聞かせください。